

プロパティ®

フロアブル

®は登録商標

新しい作用機作のうどんこ病殺菌剤



石原バイオサイエンス株式会社

プロパティフロアブルの特長

●うどんこ病菌の様々なステージに作用

付着器、吸器、胞子の形成、菌糸の伸長に作用し、うどんこ病菌の生育に関わる様々なステージにおいて阻害効果を発揮します。

●各種うどんこ病菌に優れた効果

既存の薬剤とは異なる新しい作用機作を持ち、きゅうり、なすなどの表皮寄生性のうどんこ病はもとより、防除が困難な内部寄生性のうどんこ病にも高い効果を示します。

●サニテーション効果（次世代菌密度低減効果）により、二次感染を抑える

うどんこ病の胞子形成を強く阻害し、胞子飛散による病害の拡大を防ぐことで、次世代の菌密度を効率的に抑えます。

●マルチスプレッド効果で作物をしっかり守る

成分が速やかに葉内で拡散し、吸器形成を強く阻害することで病斑の拡大を抑え、安定した防除効果を発揮します。

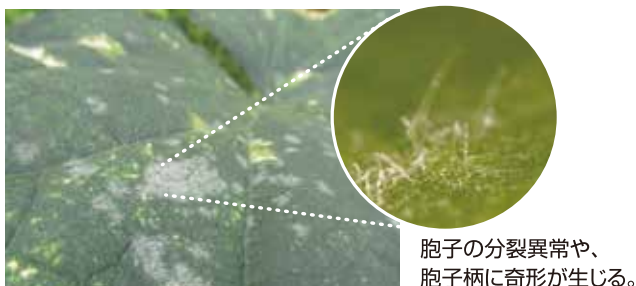
●天敵、有用昆虫に対する高い安全性

訪花昆虫や天敵に影響がほとんどなく、総合防除（IPM）に適した薬剤です。

うどんこ病防除に2つの効果

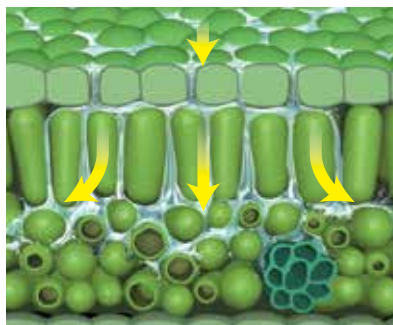
サニテーション効果

胞子形成を著しく阻害し、次世代の病原菌密度を低下させます。



胞子の分裂異常や、胞子柄に奇形が生じる。

マルチスプレッド効果



マルチスプレッド効果により、葉内のあらゆる方向に広がった有効成分が一定期間留まることで安定した防除効果が得られ、残効性や耐雨性の向上に寄与します。

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り 使用液量(L)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピリオフェノンを含む 農業の総使用回数	
小麦	うどんこ病	3,000 ~4,000	60~150	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内	
りんご			200~700		2回以内		2回以内	
日本なし		3,000 ~4,000	100~300	収穫前日まで	3回以内		3回以内	
かき								
ぶどう								
きゅうり		うどんこ病	3,000 ~4,000	100~300	収穫前日まで		3回以内	3回以内
いちご								
すいか								
メロン								
なす	うどんこ病	3,000	100~300	収穫前日まで	2回以内	2回以内		
ピーマン								
さやえんどう								
ししとう	うどんこ病	3,000	100~300	収穫前日まで	2回以内	2回以内		
かぼちゃ								
トマト	うどんこ病	3,000	100~300	収穫前日まで	2回以内	2回以内		
ミニトマト	うどんこ病	3,000	100~300	収穫前日まで	2回以内	2回以内		

⚠ 使用上の注意事項

- 使用直前に容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 出来るだけ発病前または発病初期に散布してください。
- 使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤の使用にあたっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。保管・・・密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

ラベルを守って正しく使いましょう!

適用作物、薬量（希釈倍数）、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

本印刷物は2022年2月時点での知見に基づいて作成しています。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

ホームページ アドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>

ホームページの
製品情報へ



取り扱い